

会社説明会資料

西武グループの成長戦略

2017年12月10日（日）

株式会社西武ホールディングス

（東証 1 部 証券コード：9024）

<http://www.seibuholdings.co.jp/>

西武グループの歩み

主な出来事

事業におけるトピックス

1912年

武蔵野鉄道設立

2006年2月

西武ホールディングス
設立

Seibu Holdings

2014年4月

東京証券取引所
市場第一部に上場



2018年3月期～

中期経営計画

“Sustainability & Dynamism”

『持続的かつ力強い成長に向けて』

持続的かつ力強い成長を実現するために、『新規事業分野の創出』と『既存事業領域の強化』に重点を置き、新中期経営計画を策定。

創業～グループ再編

2006年～2014年

2014年～

■ 西武鉄道の鉄道事業

東京都・埼玉県での鉄道事業を展開

■ ホテル・レジャー事業

ホテル、ゴルフ場、スキー場等の展開を通じ日本のレジャー産業に貢献

■ 不動産事業

西武鉄道沿線や湘南などでの住宅分譲や、リゾート地での別荘開発、西武鉄道沿線を中心とした商業施設展開

「峻別と集中」

「財務体質の強化」と「収益性の向上」をテーマに抜本的経営改革を断行

グループ施設

167か所⇒**89か所***

グループ会社

120社⇒**55社***

グループ社員

約3万人⇒約**2.2万人***

*グループ再編前と2014年3月31日時点の比較

2016年7月

東京ガーデンテラス
紀尾井町開業
ザ・プリンスギャラリー
東京紀尾井町開業



2017年7月

StayWell

オーストラリアに本社を置くホテル運営会社 StayWell Hospitality Group Pty Ltdの事業取得を決定
2017年10月に運営開始

2017年3月



新型通勤車両「40000系」を導入

 横浜アリーナ 横浜アリーナ(株)を連結子会社化

グループビジョン

基本姿勢

【グループ理念】

私たち西武グループは地域・社会の発展、環境の保全に貢献し、
安全で快適なサービスを提供します。
また、お客さまの新たな感動の創造に誇りと責任を持って挑戦します。

行動指針

【グループ宣言】

私たちは、「お客さまの行動と感動を創り出す」
サービスのプロフェッショナルをめざします。

【スローガン】 **でかける人を、ほほえむ人へ。**

チームほほえみ賞・大賞

西武グループの全役職員へのグループビジョン浸透及び実践の促進を目的に、毎年グループの各職場・チームからグループビジョンに基づく取り組み事例を募集。優れた職場・チームの中から「チームほほえみ賞」・「チームほほえみ大賞」を選出。

ほほえみFactory

「チームほほえみ賞」受賞チームの社員を中心に、3日間のプログラムで所定のテーマに基づいてディスカッションをおこない西武グループとして取り組むべき活動を経営層に提案。それらの提案の中から、以下の取り組みが実現。



西武塾

未来を担うこどもたちの健やかな成長を応援



駅チカ保育所 「Nicot」

沿線の子育て支援のため、安心安全な保育環境



アオダモの 植樹

良質なバット材に使用されるアオダモを植樹

西武グループ全79社の展開する事業

都市交通・沿線事業

東京都・埼玉県エリアでの鉄道業の他
鉄道沿線を中心にバス・タクシー業や
レジャー施設を運営



主な会社：西武鉄道(株)、西武バス(株)ほか

ホテル・レジャー事業

全国でホテルの他、ゴルフ場、スキー
場、水族館などのレジャー施設を運営



主な会社：(株)プリンスホテル、(株)横浜八景島
StayWell Holdings Pty Ltd

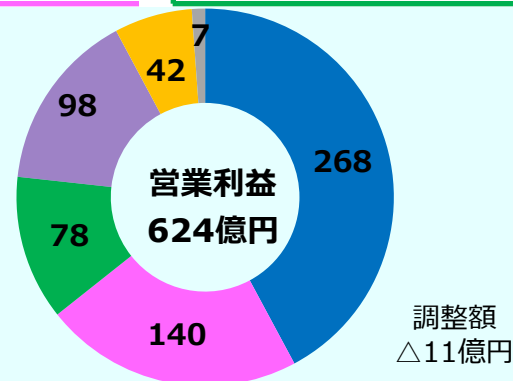
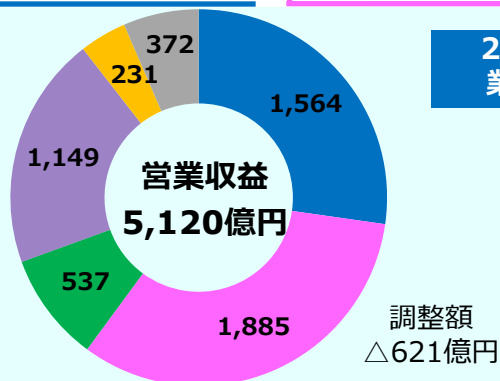
不動産事業

西武鉄道沿線の駅ナカ商業施設やアウ
トレットモールの運営

東京ガーデンテラス紀尾井町などの大
規模開発を推進



主な会社：(株)西武プロパティーズ



総合建設業。グループ内においても鉄
道工事やホテルの改修工事などを実施
する役割を担う

建設事業

米国ハワイ州において、3ホテル
3ゴルフコースを運営

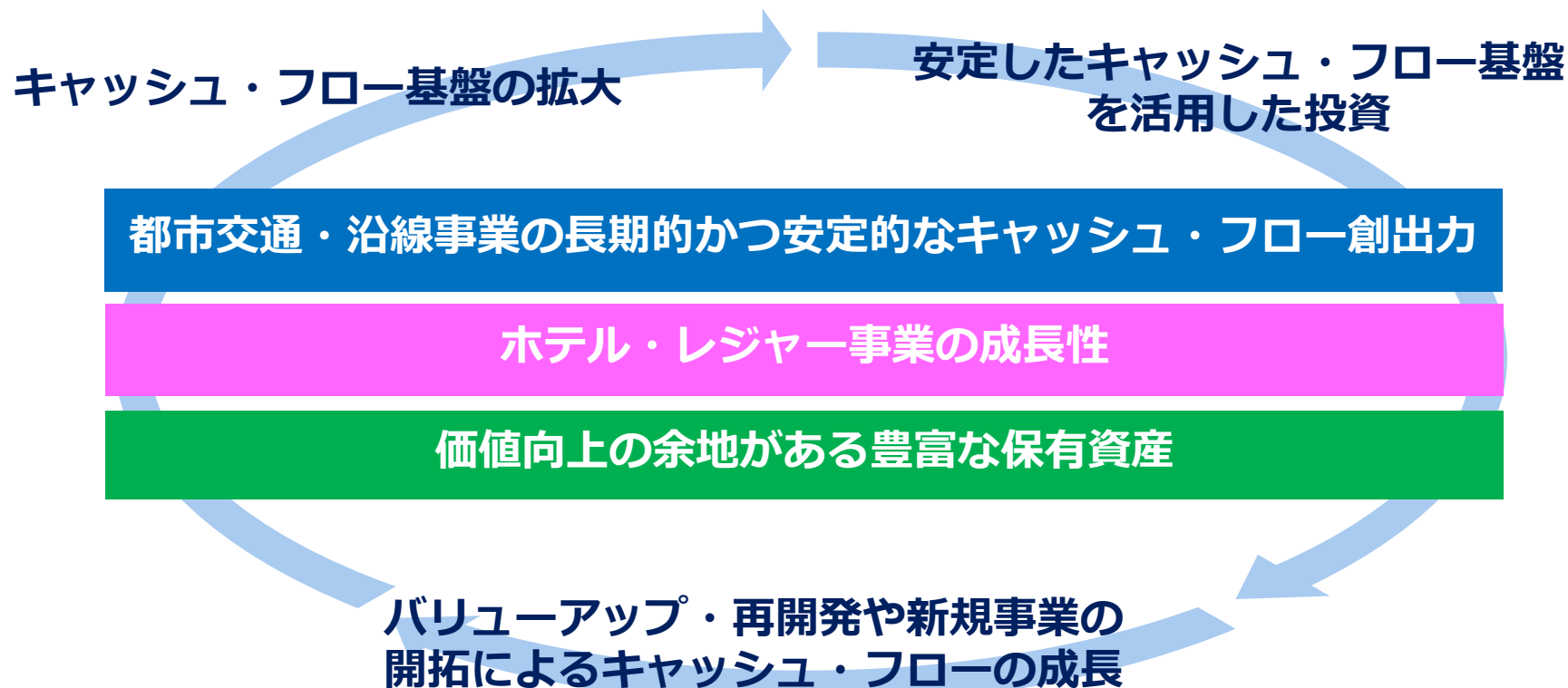
ハワイ事業

伊豆・箱根地区や、琵琶湖エリアにお
いて地域に根差した事業を展開。埼玉
西武ライオンズを運営

その他事業

西武グループの成長サイクル

- 都市交通・沿線事業のキャッシュ・フロー創出力を基盤としてホテル・レジャー事業と不動産事業の成長を実現
- ホテル・レジャー事業と不動産事業のキャッシュ・フロー基盤は着実に拡大
- 今後は更なる成長をめざし、新規事業を積極的に開拓する新たな成長ステージへ



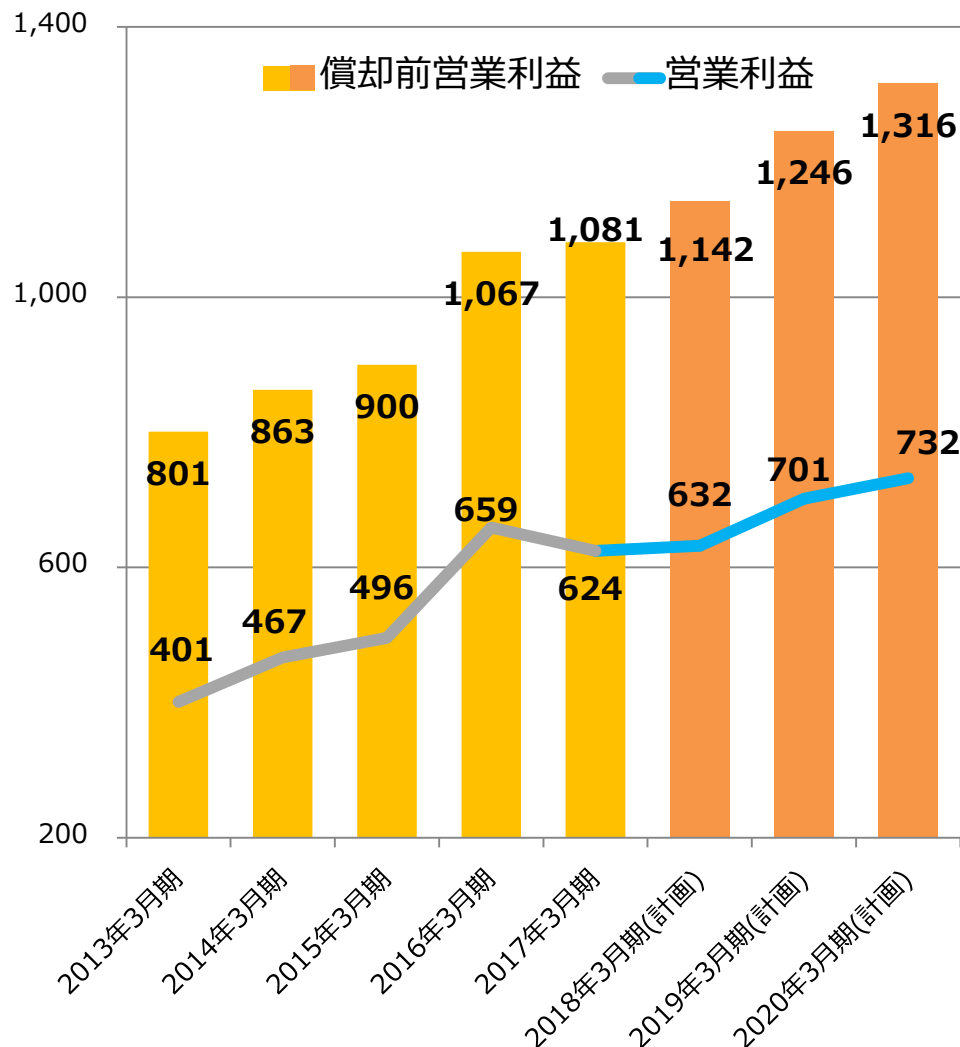
長期的な目標水準：Challenge Target



2018/3期-2020/3期 中期経営計画

償却前営業利益・営業利益の推移と計画

単位：億円



■ これまで着実な利益成長を実現してきた

■ 現在の中期経営計画は、新たな長期目標水準である「Challenge Target」に向けたロードマップとしての3カ年の経営計画

■ 従来より目指す利益水準としていた償却前営業利益1,100億円は今期(2018年3月期)達成を見込む

■ ホテル・レジャー事業を成長の原動力として安定した成長を遂げる計画。

都市交通・沿線事業の強みと戦略

✓ 西武鉄道の概要

- ・ 東京都、埼玉県において13路線92駅を運営
- ・ 西武鉄道年間輸送人員：6億4,842万人
(2017年3月期)

✓ 西武鉄道の強み

- ・ 日本有数のターミナル「池袋」「新宿」
- ・ 堅調な雇用情勢と沿線人口を背景に輸送人員は増加傾向

⇒ **長期的かつ安定的な運輸収入**

✓ 都市交通・沿線事業の戦略

- ・ 様々な需要喚起施策により沿線の魅力向上を推進
 - 鉄道利便性・安全性の向上
 - 「池袋」「所沢」における駅周辺開発
 - 観光地「秩父」「川越」「飯能」への誘客



西武鉄道テレビCM



西武秩父駅前温泉 祭の湯

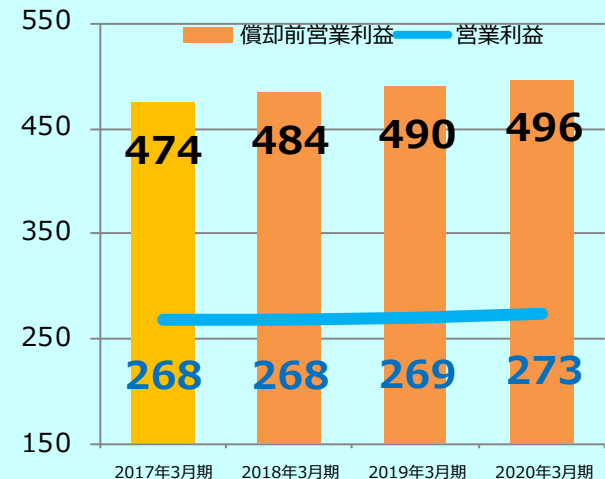


新型通勤車両「40000系」

中期経営計画

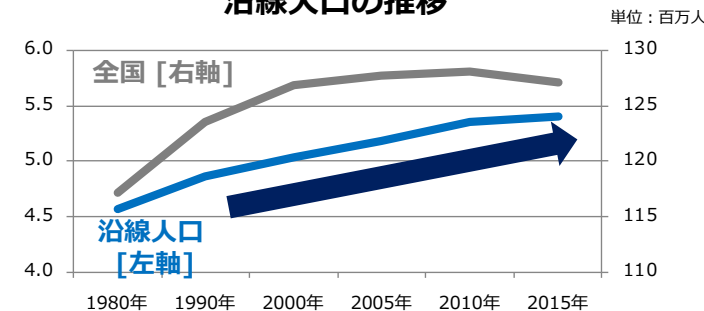
高いキャッシュ・フロー創出力をより強固にすべく「革新と挑戦」をキーワードに様々な施策を実施

単位：億円



事業環境

沿線人口の推移



出所：国勢調査（2016年10月）

西武鉄道の沿線価値向上戦略



西武鉄道における需要喚起・利便性向上施策

これまでの実績

新型通勤車両導入

2017年3月25日

新型通勤車両「40000系」を導入

座席指定制の相互直通列車「S-TRAIN」を運行開始

(40000系は鉄道車両で初めて第11回キッズデザイン賞『内閣総理大臣賞』(最優秀賞)を受賞)



「西武秩父駅前温泉 祭の湯」

2017年4月24日

西武秩父駅前に秩父地域の特色を生かした複合温泉施設

「西武秩父駅前温泉 祭の湯」を開業



観光電車 「52席の至福」

2016年4月17日

レストラン列車 西武 旅するレストラン

「52席の至福」を運行開始

土休日を中心に年間100日程度運行中



今後の取り組み

新型特急車両導入

2019年3月期

現行の「ニューレッドアロー」以来25年ぶりとなる新型特急車両の導入

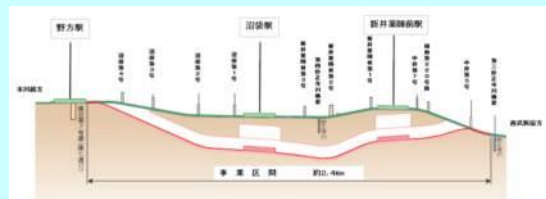
デザイナーに妹島和世氏を起用



連続立体交差事業の推進

新宿線連続立体交差事業の推進

- ・ 中井～野方駅間連続立体交差事業(地下化)
- ・ 東村山駅付近連続立体交差事業(高架化)
- ・ 野方～井荻駅間および井荻～東伏見駅間(早期事業化に向けて準備中)



ホームドアの整備

2021年3月期目途

乗降人員10万人/日の駅について整備を推進

【工事中】池袋駅

【今後設置予定】練馬・西武新宿・高田馬場

・ 所沢・国分寺



ホテル・レジャー事業の戦略と強み

プリンスホテルの概要

- ・国内最大規模の売上高を誇るホテルチェーン
 - 全国で43ホテル、17,395室を展開
- ・本年10月、名古屋プリンスホテル スカイトワーを開業

プリンスホテルの強み

- ・客室単価の引上げによる**収益力の強化**により、グループの成長を牽引
- ・1,000㎡を超える大規模な宴会場を数多く保有し、MICE*市場での圧倒的なシェアを確保

プリンスホテルの戦略

- ・現在：バリューアップ投資やマーケットチェンジなど「既存事業領域の強化」
- ・2021年3月期以降：FC・MC、会員制ホテル事業など「**新規事業分野の創出**」を本格化



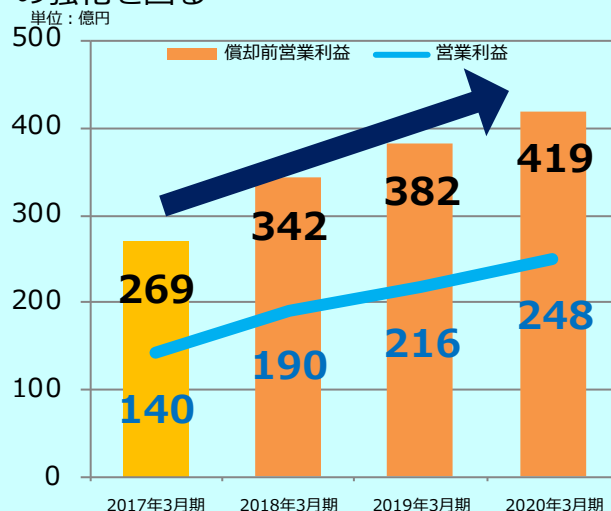
ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町



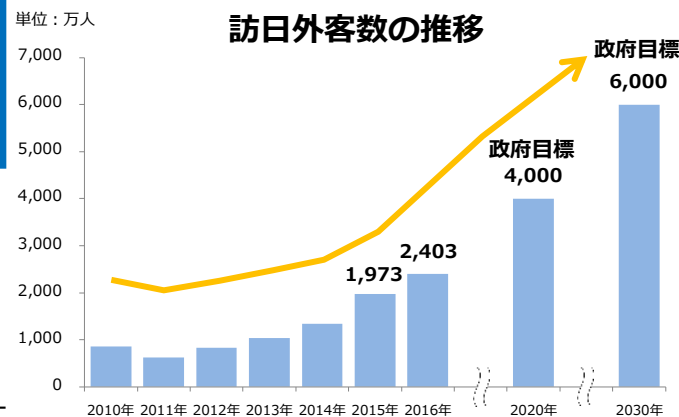
名古屋プリンスホテル スカイトワー

中期経営計画

戦略的な設備投資や顧客層のマーケットチェンジにより、客室単価の引上げ・収益力の強化を図る



事業環境



出所：日本政府観光局（JNTO）及び政府発表数値

成長に向けた施策（2017年3月期～2020年3月期）

新規開業



**ザ・プリンスギャラリー
東京紀尾井町**

2016年7月27日開業
(250室)

事業取得

StayWell

StayWell Hospitality

Group Pty Ltd

2017年 7月 事業取得を決定

2017年10月 事業運営を開始

10カ国 35ホテル 4,424室
(開発中のホテル含む)

今後10年で約100ホテルへ拡大

新規開業



名古屋プリンスホテル スカイトワー
2017年10月2日開業（全170室）

新規開業



**元京都市立清水小学校跡地のホテル事業
運営受託を内定** 2019年夏頃開業予定

新規開業



PRINCE SMART INN

Prince Smart Inn

2020年3月期 開業予定

**会員制ホテル
・資産転用**

会員制ホテル・資産転用

2020年3月期をめぐり
スタート

2017年3月期

2018年3月期

2019年3月期

2020年3月期



軽井沢プリンスホテル イースト

2017年7月12日 客室（70室）、
ロビー、レストラン改装完了



大磯プリンスホテル

2017年7月15日 客室（312室）、
レストラン、宴会場の改装、
スパ・温泉施設新設完了



ザ・プリンス パークタワー東京

2018年3月 客室（527室）、
ロビーラウンジ改装完了（予定）

**バリューアップ投資
2020年3月期まで**

■シティホテル
約10,000室のうち50%完了予定

■リゾートホテル
約7,000室のうち25%完了予定

リニューアル

リニューアル

2020年以降を見据えた各種施策

FC・MC・M&A等により250ホテル規模へ事業拡大

既存ブランド



PRINCE SMART INN

会員制ホテル
・資産転用

StayWell

狙い

FCやMCの展開

・FC・MCなどリスク
をおさえて出店加速
・ボリュームゾーンの
取込み

リゾートエリア
の競争力強化

・収益機会拡大
・グローバル人材育成
・セールス拠点拡充
・会員の相互利用

主な
客層

ビジネス客
レジャー客
インバウンド

インバウンド
ミレニアル世代

富裕層
アクティブ
シニア

外国人客

出店
目標

約150

約100

Prince Smart Innの展開、会員制ホテル事業への参入



PRINCE SMART INN

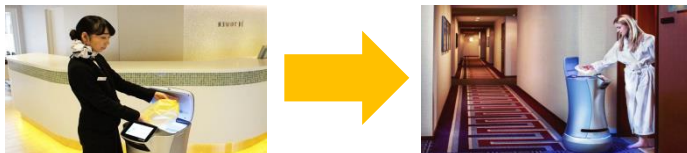
- 2020年3月期開業予定
- 未補完エリアへ新規出店

ミレニアル世代を中心とした
顧客基盤の拡大



→ 生涯顧客へ育成

ICT・AIを活用したローコスト
オペレーションの実現



→ 既存ホテルへの導入

FC・MC等による機動的な出店



→ 環境悪化などのリスクを回避
→ スピード感をもった出店

会員制ホテル・資産転用

- アクティブシニアや富裕層を取込み、顧客基盤を拡大
- 未利用地の有効活用による、リゾートエリアの競争力強化

好立地かつ多様な施設

販売チャネル・販売スキル

高水準・多様なサービスの提供



不動産事業の戦略と強み

✓ 概要

- ・グループ全体で全国に豊富な資産を保有
- ・商業施設、オフィス、住宅などの不動産賃貸業が主軸
- ・東京ガーデンテラス紀尾井町の開業により収益力強化

✓ 強み

- ・東京23区内に約47万㎡の不動産を保有
(大手デベロッパーを上回る規模)
- ・保有不動産の高いポテンシャル
- ・東京ビジネス地区における堅調なオフィス需要

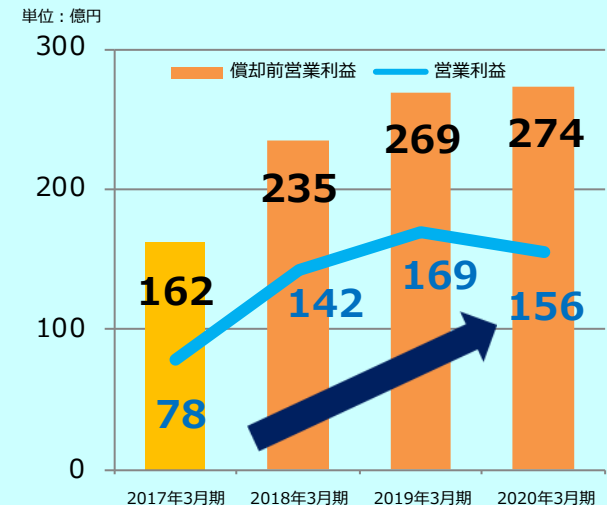
✓ 戦略

- ・大規模再開発による**収益力の顕在化**
 - 西武鉄道沿線での駅周辺再開発
池袋のオフィス開発、所沢の商業開発
 - 都心保有資産の有効活用検討
高輪・品川エリア、芝公園エリアの再開発検討



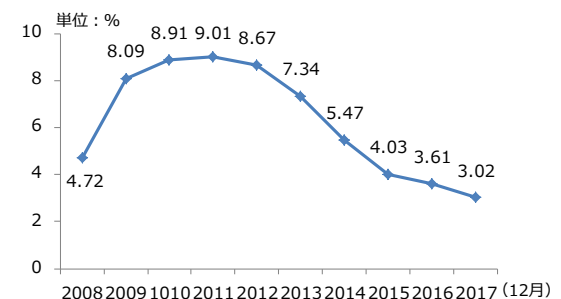
中期経営計画

グループ保有不動産の収益力の顕在化にスピード感を持って取り組み、不動産賃貸業を軸とした事業基盤を確立



事業環境

東京ビジネス地区*1の オフィスビル平均空室率*2

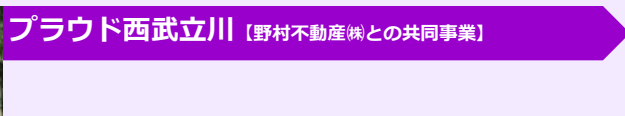


出所：三鬼商事（株）

*1 都心5区（千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区）

*2 12月の平均空室率の数値で算出（但し、2017年は10月の平均空室率）

【不動産事業】 主な開発プロジェクト

	2017年	2018年	2019年	2020年～
オフィス	 東京ガーデンテラス紀尾井町 オフィス部分収益貢献	 (仮称)西武鉄道池袋ビル 開業予定：2019年春		
住宅	 エミリブ鷺ノ宮 竣工予定：2018年3月 戸数：70戸	 (仮称)東長崎駅南口計画 竣工予定：2019年		
商業	 所沢駅東口駅ビル計画【住友商事(株)との共同事業】 (Ⅰ期) 開業予定：2018年3月 (Ⅰ期) 「グランエミオ所沢」 2020年夏 (Ⅱ期)	 (Ⅱ期)	 所沢駅西口開発 2020年代半ば 連続立体交差化跡地活用	
分譲	 プラウド西武立川【野村不動産(株)との共同事業】 竣工：2017年8月 (マンション) 総戸数：マンション 109戸		 保谷南分譲マンション計画 竣工予定：2019年3月	

高輪・品川エリア、芝公園エリアの再開発検討

都心保有資産の有効活用

現況

A 東京ガーデンテラス紀尾井町

東京ガーデンテラス紀尾井町
(複合開発)

池袋駅

取り組みの方向性・実績

2016年7月にグランドオープン
オフィス稼働率100%
レジデンス・商業施設高稼働

B 高輪・品川エリア

ザ・プリンス さくらタワー東京
グランドプリンスホテル高輪
グランドプリンスホテル新高輪
品川プリンスホテル
(ホテル)
品川プリンスレジデンスなど

新宿区

新宿駅

千代田区

中央区

東京駅

渋谷区

渋谷駅

港区

品川駅

東京オリンピック・パラリンピック以降、エリア最大級の地権者として保有資産の最大活用を図るべく、大規模な複合施設を鋭意検討中

C 芝公園エリア

ザ・プリンス パークタワー東京
東京プリンスホテル
(ホテル)

B

C

東京プリンスホテルについて、東京オリンピック・パラリンピック以降の開発について検討

東京ガーデンテラス紀尾井町

- 西武グループの飛躍のシンボル「東京ガーデンテラス紀尾井町」が
2016年7月に全面開業、好調に推移

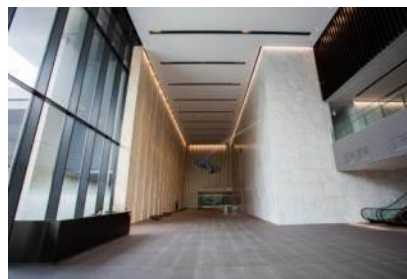


グランドプリンス
ホテル赤坂
(ホテル・住宅)



東京ガーデンテラス紀尾井町
(オフィス・ホテル・商業・住宅の複合ビル)

オフィス



総貸付面積 約80,000m²
稼働率 100%

賃貸住宅

「紀尾井レジデンス」



戸数 135戸
高水準の入居率

ホテル

「ザ・プリンスギャラリー
東京紀尾井町」



平均販売室料 約4万円

バンケット・レストラン

「赤坂プリンスクラシックハウス」

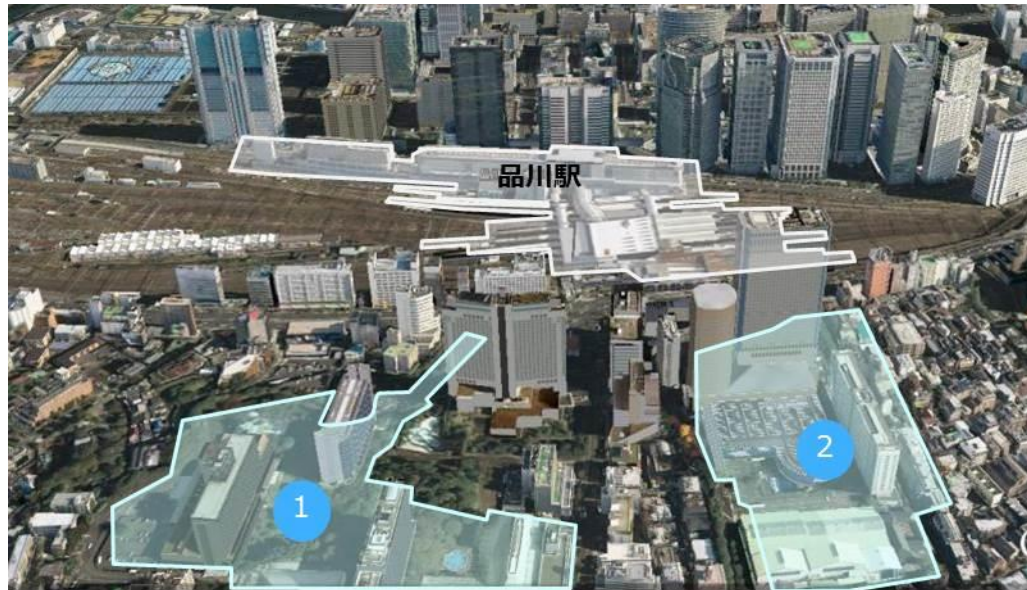


婚礼：計画を大きく上回る
予約状況

収益力はおおよそ **5倍** に拡大

※商業施設「紀尾井テラス」も100%稼働

高輪・品川エリアのポテンシャル



①ザ・プリンス さくらタワー東京
グランドプリンスホテル高輪
グランドプリンスホテル新高輪

◆客室数(3ホテル合計): 1,576室
◆宴会場数: 大小合わせ43宴会場

②品川プリンスホテル

◆客室数: 3,560室
◆宴会場数: 大小合わせ40宴会場

敷地面積: 83,636㎡

敷地面積: 45,402㎡

- 国際交流拠点、交通のハブとしての発展
「羽田空港」
「リニア中央新幹線」
「新線・新駅構想」
「JR品川車両基地跡地の再開発」
- 国・行政による支援
「国際戦略総合特区、特定都市再生緊急整備地域、国家戦略特区への指定」
「品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン2014」
「国道15号・品川駅西口駅前広場の整備方針について」

西武グループの取り組み

インバウンドの拡大
東京オリンピック・パラリンピック開催
ホテル・レジャー事業の利益最大化

2020年以降

最大の地権者
保有資産の最大活用

西武鉄道沿線での駅周辺再開発

- ・「池袋駅」「所沢駅」を中心として駅周辺での再開発を推進することにより、沿線価値の向上を図る。
- ・オフィス、商業施設、住宅をバランス良く開発し、西武鉄道沿線への人口流入を図って行く。

■ 池袋駅：(仮称)西武鉄道池袋ビル

2019年春、池袋エリアでトップクラスのオフィスビル誕生



所在地	東京都豊島区南池袋1丁目21番地23他
敷地面積	約5,530㎡
延床面積	約49,661㎡
階数	地上20階、地下2階
主要用途	事務所・店舗・駐車場
竣工	2019年3月
総事業費	約380億円

西武鉄道最大のターミナル駅である池袋において、旧本社ビルを賃貸オフィスビルへ建て替え。

■ 所沢駅：西武鉄道沿線の中核都市である所沢において、街づくりを段階的に推進

・ 所沢駅東口駅ビル計画

第Ⅰ期 2018年3月上旬

「グランエミオ所沢」開業予定

第Ⅱ期 2020年夏予定

複合施設（駅舎+商業施設:地上5階・地下2階）

テナント数 約120店舗 事業費 約268億円



・ 所沢駅西口開発計画

西武鉄道所沢車両工場跡地約59,000㎡の有効活用

広域集客型の商業を核とした大規模開発

※ 今後所沢市と協議し計画内容・実施時期などを検討

メットライフドームエリア改修計画

- ・西武ライオンズ40周年記念事業として、メットライフドームエリアを改修
- ・ボールパーク化とチーム/育成の強化を実現し、「西武ライオンズブランドの再強化」をめざす。

- ・ **ボールパーク化**：あらゆる世代のお客さまが楽しめる「新しい価値」の提供



- ・ **チーム/育成の強化**：育成に定評のあるライオンズを追求できる環境整備



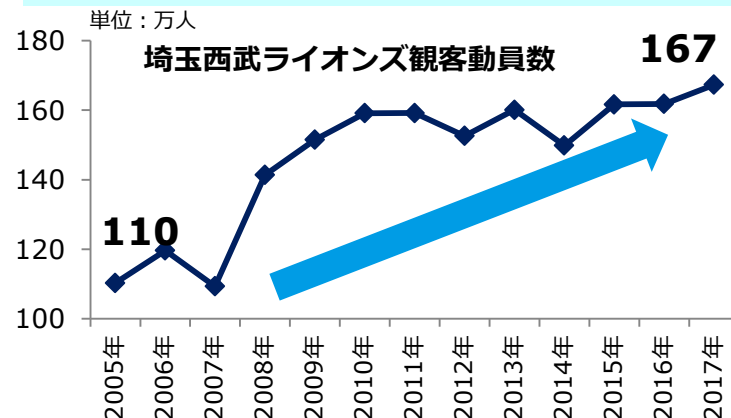
- ・ 大型室内練習場
- ・ 選手寮新設
- ・ 練習用サブグラウンド・ブルペンの増設 など

西武グループのイメージリーダーとしてグループを牽引

埼玉西武ライオンズ事業ビジョン

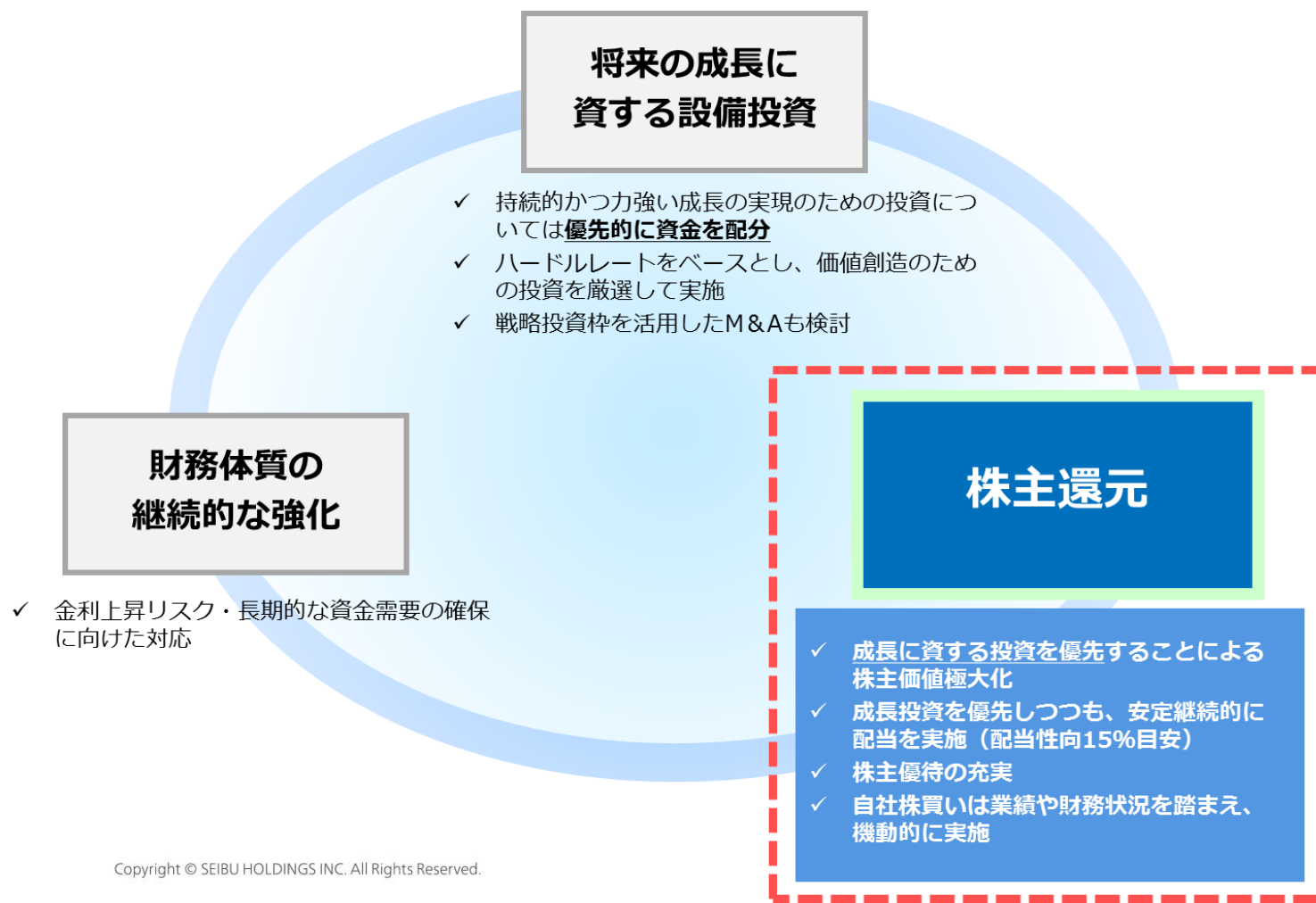
チームとスタッフが一体となり野球エンターテインメントを通じてファンと共に熱狂を共創し、新たな感動の創造に挑戦する。

**共に強く。
共に熱く。**



株主還元方針について

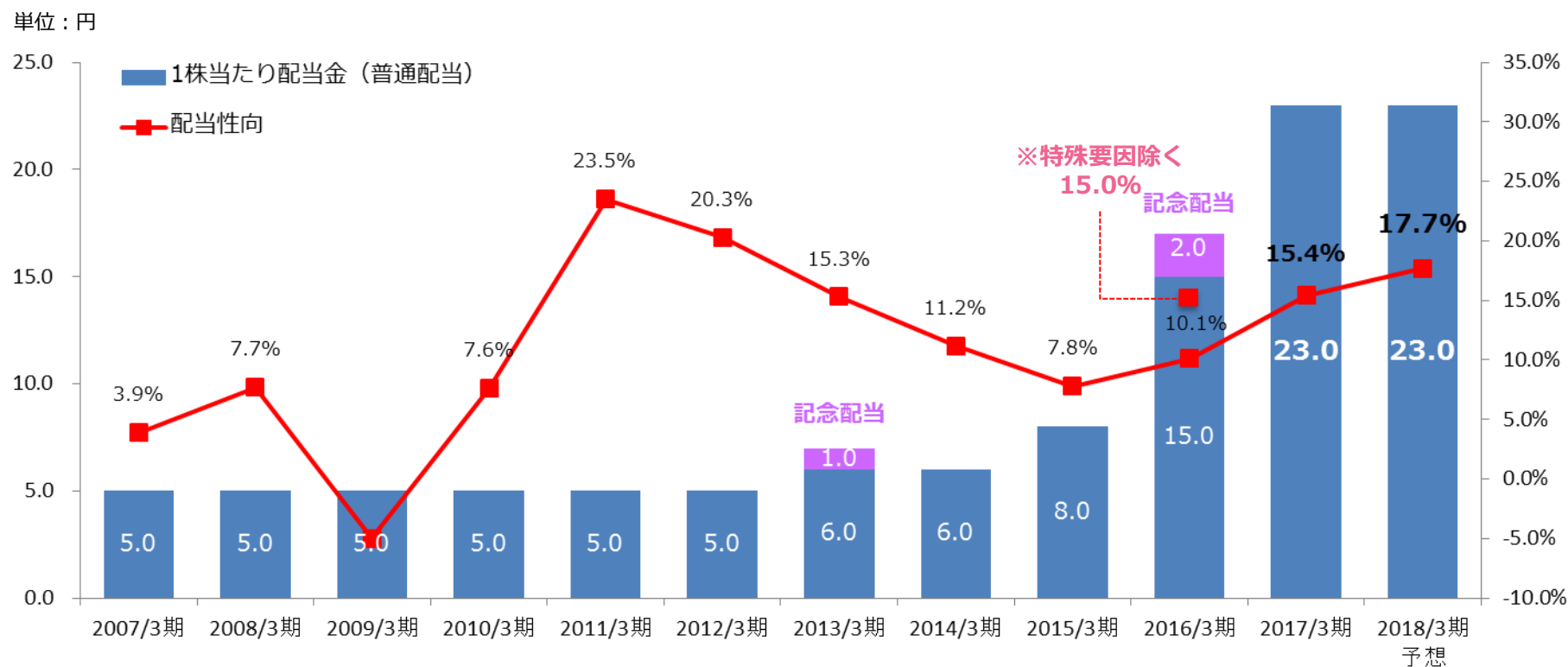
- 成長に資する投資を優先し、株主価値を極大化
- 配当は、配当性向15%を目安に安定的・継続的に実施
- 自社株買いは業績や財務状況を踏まえ機動的に実施



配当について

■ 株式上場以降積極的に増配を実施し、株主還元を強化

配当金と配当性向の推移



※特殊要因 安比奈車両基地整備計画の廃止決定に伴う減損損失・求償債権計上益・税率変更

株主優待制度 ①

＜当社の株主優待の3つの特徴＞

300株以上ご所有の株主さまに、西武線と西武バスがご利用いただける「株主優待乗車証（片道きっぷ）」をお渡ししています。

10,000株以上ご所有の株主さまには、有効期間中何度でも乗り降りできる「株主優待乗車証（全線パス）*」をお渡ししています。

*「株主優待乗車証(全線パス)」は、プリンスホテルの無料ペア宿泊券と交換可能

「選べる！株主さまご優待券（1,000円割引券）*」は、全国のプリンスホテルや横浜・八景島シーパラダイス等、西武グループの各施設でご利用になれます。プリンスホテルのWebサイトで掲載している宿泊プランやゴルフプラン等でもご利用いただける、大変お得なご優待券です。

* 会計2,000円ごとに1,000円割引

1,000株以上ご所有の株主さまには、埼玉西武ライオンズ主催の公式戦（セ・パ交流戦を含む）の内野指定席券引換券を5枚差し上げます。引換対象の内野指定席は、グラウンドから近く、選手のプレーもしっかり観戦できます。

株主優待制度 ②

- 株主優待は、**3月31日**及び**9月30日**の最終の株主名簿に記録された**300株以上**ご所有の株主さまに対して**年2回**お送りいたします

株主優待乗車証

(西武線・西武バスの片道きっぷ・全線パス)



施設利用優待券

(グループ施設の応募券・引換券・割引券)

株主優待乗車証

所有株式数	優待乗車証の種別	乗車区間	枚数	備考	長期保有株主優待
300株以上 1,000株未満	片道きっぷ	西武線・西武バス 全線	2枚	—	3年以上継続して3,000株以上 保有した場合 片道きっぷ5枚追加発行
1,000株以上 3,000株未満	片道きっぷ	西武線・西武バス 全線	10枚		
3,000株以上 5,000株未満	片道きっぷ	西武線・西武バス 全線	30枚		
5,000株以上 10,000株未満	片道きっぷ	西武線・西武バス 全線	50枚		
10,000株以上 20,000株未満	電車全線バス	西武線全線	1枚	⇔ 「プリンスホテル」ブランド「旅館」の ペア宿泊券(1泊)と交換可能	3年以上継続して10,000株以上 保有した場合 片道きっぷ10枚追加発行
20,000株以上 40,000株未満	電車・バス全線バス	西武線・西武バス 全線	1枚	⇔ 「ザ・プリンス」「グランドプリンス」 ブランドのペア宿泊券(1泊)と交換可能	
40,000株以上	電車・バス全線バス	西武線・西武バス 全線	2枚	⇔ 「スイートルーム」「ザ・プリンス ギャラリー 東京紀尾井町」「ザ・プリンス ヴィラ軽井沢」 「旅館」のペア宿泊券(1泊)と交換可能	

株主優待制度 ③

施設利用優待券

							
優待内容	①メットライブ ドームネット裏 スペシャルシー ト応募券	②埼玉西武ライ オンズ内野指定 席引換券	③選べる！株主 さまご優待券	④ゴルフ割引券	⑤ウエディング 割引券	⑥レストラン 割引券	⑦スキーリフト 割引券 (※3)
所有株式数	ネット裏スペ シャルシートへ毎試合 抽選で1組4名さ まご招待	西武ライオンズ主 催のすべての公式 戦が対象	西武グループのホ テル、レストラン、 ゴルフ場、プール、 スキー場、遊園地、 水族館、温泉でご 利用いただける 「1,000円割引券」 (※1)	【9名さま以下で ご利用の場合】 1 名さまにつき1,000 円割引 【10名さま以上で ご利用の場合】 幹事1名さまのゴル フプレーフィーが 無料(※2)	披露宴のお料理・ お飲料料金から 5%OFF	1会計につき 10%OFF	リフト1日券を正規 料金から30%OFF
300株以上 1,000株未満	—	—	半期につき3枚				
1,000株以上 10,000株未満	—	半期につき5枚	半期につき10枚	半期につき2枚	半期につき1枚	半期につき10枚	半期につき5枚
10,000株以上	半期につき1枚						

※1 会計2,000円ごとに1,000円割引、1会計につき最大10枚までご利用可能になります。

※2 平日利用の場合は、次回以降利用可能な「平日グリーンフィー無料優待券（1組4名さま）」を1枚追加でプレゼントいたします。

※3 ⑦スキーリフト割引券は11月発送分（9月30日基準日）のみとなります

株主・投資家の皆さまへの情報発信

■ 個人投資家向けコンテンツのご案内： <http://www.seibuholdings.co.jp/ir/individual/>



①「株主・投資家の皆さまへ」をクリック

②「個人投資家の皆さまへ」をクリック

■ IR関連表彰

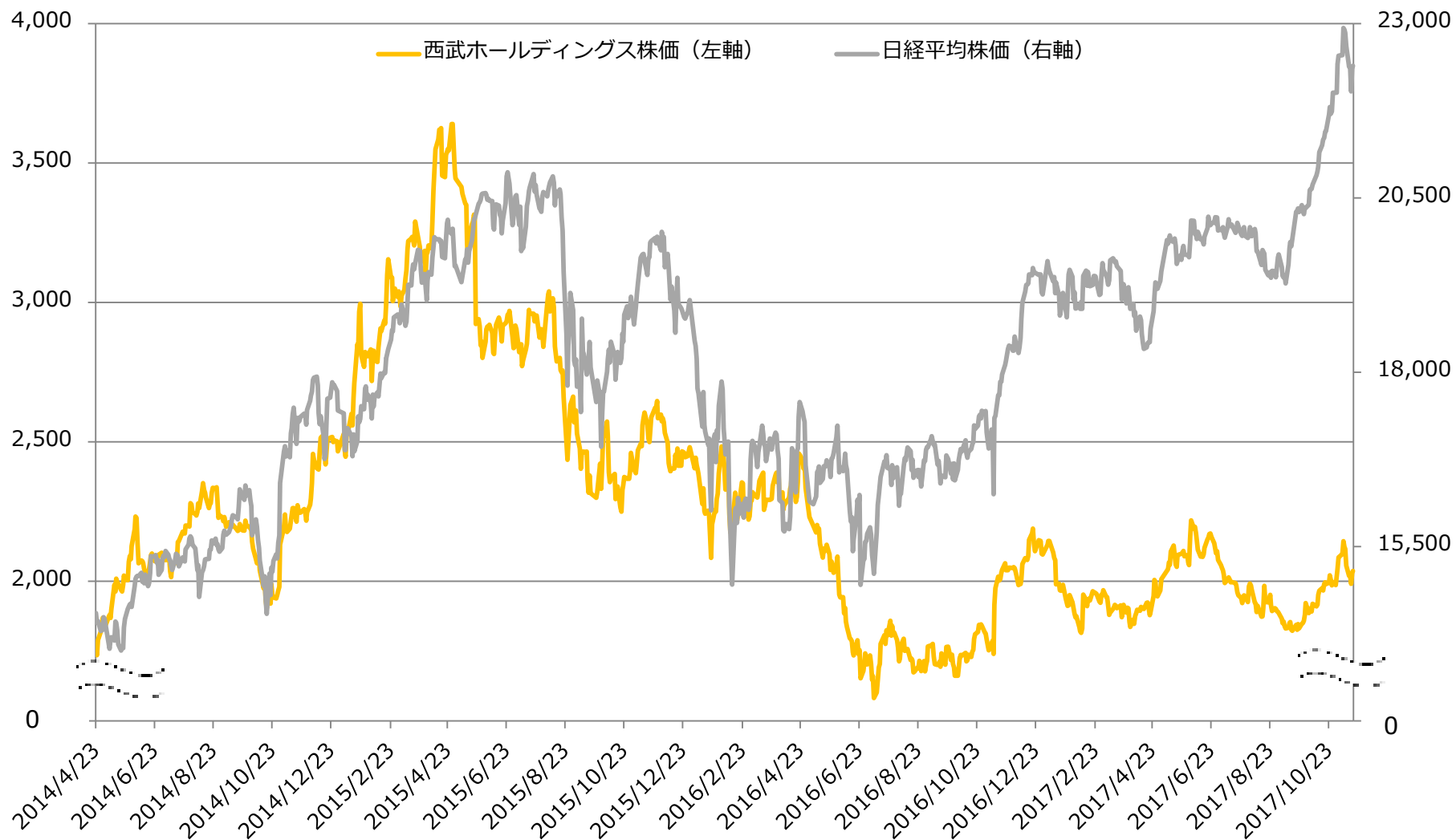


2016年度「IR優良企業賞」において
「IR優良企業奨励賞」を初受賞しました
(主催：一般社団法人 日本IR協議会)

【ご参考】 株価推移

株式会社西武ホールディングス（東証 1 部 証券コード：9024）

単位：円



会社概要

社名	株式会社西武ホールディングス（英文名 SEIBU HOLDINGS INC.）
設立	2006年2月3日
本店所在地	東京都豊島区南池袋一丁目16番15号 ※現在、西武鉄道池袋ビル建替え計画に伴い、下記所在地に仮移転しております。
仮移転先所在地	東京都豊島区長崎5丁目1番34号 東長崎西武ビル3階
本社所在地	埼玉県所沢市くすのき台一丁目11番地の1 TEL：04-2926-2635
資本金	500億円
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部（証券コード：9024）
従業員数	294人（2017年3月31日現在）
代表者	取締役社長 後藤 高志
主な事業内容	・グループ全体の経営戦略策定 ・グループ全体の経営管理 ・グループ全体の資金管理・調達 ・グループ全体の広報 ・グループコンプライアンスの推進

ディスクレマー

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいております。

従いまして、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる場合がありますことをご承知おきください。